

【グループ目標】

5領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ① 身辺自立に向けてできることを増やし、できた喜びを感じ、進んで取り組もうとする意欲を育てる。(1)(2)
- ② 集団を通して、友達とのかかわり方や自分の気持ちを表現する方法、相手の気持ちを考えて行動する力を身に付ける。(3)(4)(5)
- ③ 提示された活動や学習に前向きに取り組む姿勢、やり遂げる力を育む。(3)(5)

【目標の具現化】

- ① 衣類の着脱や靴の脱ぎ履き、排せつや食事は日常的に必要な行為である為、何かひとつ得意とし進んで取り組めるようになって欲しい。また、できた喜びを感じることで自信へと繋げていき、次も頑張ろうと思える意欲を高め習慣化できるようにしていきたい。
- ② 集団の中で、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうとともに、適切な言葉遣いや距離感を身に付け、社会性を育てていく。また、自分の気持ちを言葉や動作にして表現することで相手に伝わるとことを知るとともに、相手の気持ちを考える力を育むことで、コミュニケーション手段の向上を図りたい。
- ③ 活動と遊びのけじめをつけ、自分がやるべきことに前向きな気持ちで取り組める力を育てていきたい。子どもが活動をやる意義を感じられるような言葉掛けや環境設定を行うことで、提示された活動への意欲向上や忍耐力、継続力を養い子ども達の自己肯定感を高めていきたい。

【活動日課・活動内容】

平日	学校休業日	長期休業日
16：00～はじめの会 個別課題/学習 16：30～主活動 ・作業学習、SST ・集団活動など 17：00～選択活動 17：20～終わりの会 荷物整理	10：00～はじめの会 個別課題/学習 11：00～主活動① 12：00～昼食 13：30～主活動② 14：30～選択活動 15：20～終わりの会 荷物整理	・事業所外学習を定期的実施し、公共のマナーや様々な体験を通し成長を促す。 ・学習と運動+行事を通し、社会性や主体性を養う活動を選定し成長を促す。 ・インクルージョンの視点から地域交流等のかかわりを取り入れる。

平日は集団活動や身辺自立に伴う活動、学校休業日は学習+子どもが主体的に活動できるようにしていく。

【指導員の評価の観点】

- 取り組もうとする姿勢や成功を共に喜び、声を掛けることができたか。
- 環境に配慮しかかわりやすい雰囲気作りや、意図的な環境設定をすることができたか。
- 子どもの将来を見据え、個別の能力を活かす活動内容を継続的かつ、段階的に提示することができたか。